

日韓つなぐ自治体交流

静岡県知事 川勝平太 × 駐日韓国大使 李俊揆氏 対談

朝鮮半島と日本は古代から深いつながりを持っていた。唐と新羅の連合軍に攻められた百済を助けるため日本が援軍を送った7世紀の白村江の戦いは、その象徴だろう。その時に援軍が出立したのが現在の静岡市だったという。江戸時代最初の朝鮮通信使を徳川家康が歓待したのも、富士山を望む静岡の地でのことだった。

川勝平太・静岡県知事と李俊揆^{イジュンギョ}駐日韓国大使が、地方主体の交流によって日韓交流の長い歴史を紡いでいく重要性について東京の韓国大使公邸で語り合った。(2017年9月23日付 毎日新聞掲載記事より転載 ※役職は掲載時のもの)

友好記念茶会

——家康が朝鮮通信使を1607年に駿府城でもてなした記念日に合わせた茶会が、6月20日に通信使ゆかりの清見寺(静岡市)で開かれました。韓国大使として初めて出席されたそうですね。

李氏 朝鮮通信使が大変厚いおもてなしを受けたことを改めて感じました。通信使が象徴するものを一言で表現すれば平和で

あり、さらに友情でしょう。それから数百年たちましたが、日本と韓国の政府はもちろん、国民も当時の平和と友情を忘れてはならないと思います。

知事 16世紀末に豊臣秀吉は朝鮮に侵攻しました。日本人は強く恨まれたので、国交の回復は困難を極めました。しかし、家康と朝鮮国王はともに偉かった。家康は朝鮮侵攻に自分は加担していないと身の潔白を証し、互

いの捕虜を送還しようと国書を送りました。朝鮮国王は、家康の提案を受け入れる大決断をして返書をしたため、470人の大使節団を送りました。使節団は、

將軍秀忠と会見した江戸からの帰途、駿府で家康から手厚くもてなされました。それが朝鮮通信使の始まりです。私は、日韓関係が冷え切っていた3年前、朴槿恵大統領(当時)に当時の友好回復の逸話をお伝えし、「裏千家

大宗匠のたてる平和の茶を、駿府の清見寺で徳川宗家18代とともに、楽しんでいただきたい」と記した書簡を送りました。その年から毎年6月20日に「友好記念茶会」を行い、4回目の今年(2017年)、大使の出席がない、心から感謝しています。

李氏 文在寅大統領と安倍晋三首相は、首脳同士が定期的な相互訪問するシャトル外交を復活させることで合意しています。

大学生通信使を派遣

駐日韓国大使 李俊揆氏



舞台づくりが出発点

静岡県知事 川勝平太

静岡には空港もありますし、シャトル外交が復活すれば首脳会談を静岡で行うこともできると思います。

知事 先日、天皇、皇后両陛下がスペイン国王夫妻を伴われ、防災施設視察のため来県されました。静岡は防災先進県です。国王夫妻は、富士山と茶畑を借景とする富士山静岡空港から帰国の途に就かれました。富士山とお茶は平和のシンボルです。首脳会談の場所

はいつでも提供します。「記憶遺産」共同申請

——日韓の民間団体が共同で、朝鮮通信使の関連資料を「世界の記憶」(世界記憶遺産)に登録するよう国連教育科学文化機関(ユネスコ)に申請しています。

李氏 両国政府もいろいろな支援をしています。今年中に登録されるでしょう。(※対談後の2017年10月31日登録)

知事 日本は、朝鮮に武力で侵攻し、そこで出会った朝鮮の文化に兜を脱ぎました。日本に朱子学をもたらしたのは捕虜の

者、李退溪の弟子筋です。彼は藤原惺窩に朱子学を教え、惺窩の弟子の林羅山が家康の学問と外交の顧問になりました。朝鮮通信使は外交使節ですが、文化使節でもありました。通信使の関連資料333点のうち48点の文

化資料が静岡県の清見寺にあります。使節の書や漢詩で、きわめてレベルが高い。

——文化交流は重要ですね。**李氏** 国と国の関係というのは、どうしても良くなったり、悪くなったりということがあります。しかし国民同士の交流というのは政治とは関係ない。相互訪問を通じて相手の国を知り、親しくなれば相手の立場に立つて考えることもできるようにな



静岡県知事 川勝平太

1948年生まれ。早稲田大、同大学院を経て英オックスフォード大で博士号取得。早大教授、国際日本文化研究センター教授、静岡文化芸術大学長などを経て2009年より現職。現在3期目。



駐日韓国大使 李俊揆氏

1954年生まれ。ソウル大法学部卒後、韓国外務省に。90年代後半に慶応大訪問研究員を経て在日大使館で勤務した。慶大時代には鹿児島県でホームステイをした経験も。2016年7月から駐日大使。（※2017年10月離任）

村江の戦い（663年）で唐・新羅連合軍に大敗しましたが、その戦いの直前、本県の蘆原（静岡市清水区）から1万人の援軍が送られました。その軍勢の船が百済の人々を日本に逃がしました。百済の渡来人は律令制、都城制、国史の編纂など国づくりの基礎を日本に伝えました。その中心人物は藤原不比等でした。不比等の父の鎌足は出自が不明です。私は、百済最後の義慈王の子で、日本に人質として来たいた余豊璋が鎌足だと思っています。百済は滅びましたが、奈良で復興したとも言えます。古代奈良

の都づくりの恩人である百済の渡来人は静岡の船で来日しました。百済の故地・忠清南道と静岡県には歴史的縁があります。**李氏** 政府間の関係ではどうしても政治的問題が出てきますが、自治体交流はそういった問題と離れて発展させることができる。忠清南道と静岡県は他の自治体のモデルになりうる交流をしていると思います。——大使から見た静岡県の魅力とは何でしょうか。**李氏** 最初は富士山のイメージしかなかったけれど、何回か訪問させてもらうと他の魅力がい

ろいろと見えてきました。温暖な気候に豊かな食材、人々の優しさに心が安らぎます。富士山を見ると「日本だ」というイメージが浮かび上がります。非常にシンプルで裾野が広い富士山のシルエットは日本の安定性を象徴しています。もつと多くの韓国人が静岡県を訪れるようにアピールしたいと思います。その代わりに静岡県からも韓国にどんな行つていただきたいね。

る。それは非常に大事なことです。3年ほど前から朝鮮通信使にならつて大学生通信使という行事をしています。韓国の大学生数十人に日本を見学させるのですが、参加してみると想像していた日本とは違うという感想が出る。それが大切です。日本の大学生たちを韓国に送るプログラムもできるよう、日本側と協議したいと思っています。**知事** 大学生の交流は素晴らしい提案です。大学は、対立国の学生同士でも平和なコミュニケーションの一員になる場です。釜山や対馬のような日韓ゆかりの場に

両国の学生がともに学びあえる施設があればいいですね。——いま人気のある韓国のガールズグループ「TWICE」には日本人メンバーが3人います。最近の大衆文化交流を象徴しているように思えます。**知事** 現代にあつた文化交流がいいでしょう。芸能・芸術、スポーツなど、若者を中心とする交流がいいでしょう。国の枠を超えて一緒に楽しめる舞台づくりが出发点になります。**李氏** そう。いろいろな形の通信使があつていいと思います。TWICEのような大衆文化の交

流も非常に意味があります。日韓が国交正常化した1965年には両国間の往来が年間1万人でしたが、今年（2017年）は1000万人を超えるかもしれない。それは、すごいことです。**忠清南道と歴史的縁**——静岡県は自治体レベルの交流に熱心で、韓国・忠清南道と提携しています。**知事** 忠清南道は百済の故郷です。最後の都は扶余でした。百済は660年、唐と新羅によって滅ぼされました。百済復興のため、日本は援軍を送りました。白

◇白村江の戦い

660年の百済滅亡後、復興を図ろうとした勢力が日本に支援を求めた。当時の齊明天皇は援軍派遣を決めたが、遠征準備中に急死。その後、中大兄皇子が遠征軍を編成して百済に送った。しかし、日本軍は663年、朝鮮半島西部の白村江河口付近での戦闘で唐・新羅連合軍に惨敗した。白村江は現在、錦江と名を変え、百済の都があつた忠清南道・扶余の周辺では白馬江と呼ばれている。

◇朝鮮通信使

朝鮮国王が日本に派遣した使節団。室町時代に開かれた朝鮮との外交関係は豊臣秀吉の朝鮮出兵で断絶した。徳川家康が回復に努め、日本から捕虜を取り戻すことを名目にした使節が1607年来日。その後は將軍の代替わりの際などに派遣されるようになり、江戸時代に計12回、日本にやってきた。使節団には知識人が多く含まれ、宿舎では日本の儒学者や文人らとの交流が盛んに行われた。

